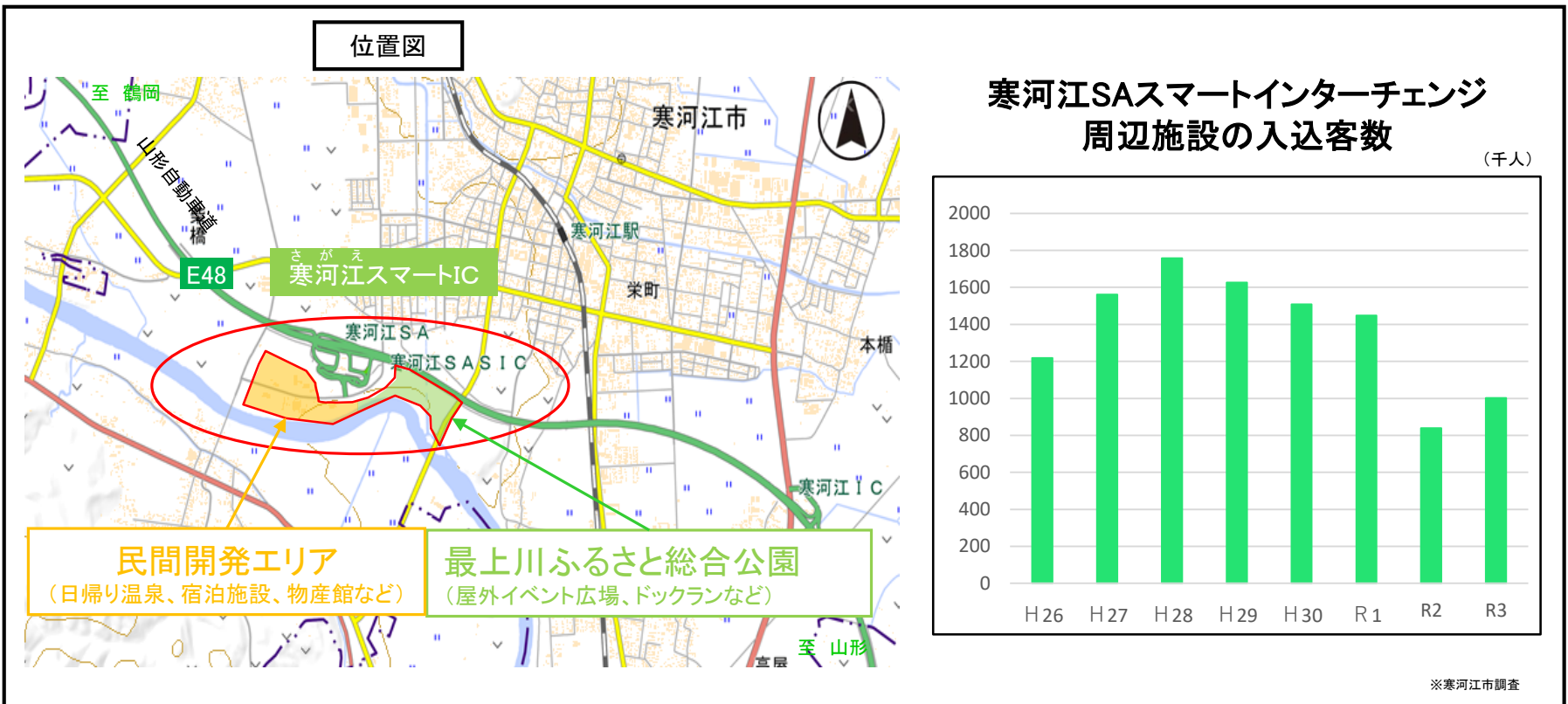


# 整備効果①：観光交流の促進

寒河江SAスマートインターチェンジに隣接する、周辺施設(最上川ふるさと総合公園、寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー、アグリランド産直センターなど)の入込客数が、平成26年度から平成28年度まで増加傾向にあり、観光交流の推進につながっていると考えています。しかし、近年はコロナ禍の影響で例年開催しているイベントの中止などもあり、減少している状況です。

今年度の利用促進策としては、道の駅や観光案内所等に「寒河江SAスマートIC周辺見どころMAP」を配布しております。その他にも11月から2月にかけて最上川ふるさと総合公園で冬期のイベントが行われる予定となっており、昨年よりもイベントの回数を増やし多くの集客を見込んでいる状況です。また、スマートインターチェンジに係るアンケート調査を実施する予定であり、今年度のスマートインターチェンジの利用状況及びアンケート調査の結果を踏まえ来年度の利用促進策を検討していきます。



# 整備効果②：企業立地の促進と救急医療への寄与

## ●企業立地の促進

寒河江SAスマートインターチェンジ整備以後、隣接するチェリークアパーク(民間開発エリア)での企業立地が増加し、分譲が完了したことは、企業立地の促進につながったと考えています。

## ●救急医療への寄与

西村山地域には第三次医療機関がなく、救急患者は山形市中心部の医療施設まで搬送しております。寒河江SAスマートインターチェンジ整備によって、救急搬送が迅速化・安定化したうえ、24時間運用によって、夜間においてもスマートインターチェンジを利用した救急搬送が可能となり、救急医療に寄与しています。夜間の利用率は、約15%となっております。

▼チェリークアパーク(民間開発エリア)  
企業数、分譲率の推移

